

再評価結果（平成19年度継続事業箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷 春敏

事業名	JR東海中央本線			事業区分	街路	事業主体	愛知県
起終点	自：愛知県春日井市長塚町 至：愛知県春日井市柏井町				延長	2.5 km	
事業概要 本事業は、JR東海中央本線の勝川駅付近の2,470m区間を高架化して、2箇所の踏切を除却するとともに、17箇所の交差道路を整備するものである。駅前広場整備、土地区画整理事業などの関連事業を併せて行い、交通の円滑化と都市内の環境改善に寄与する。							
H元年度着工準備		H4年度都市計画決定		H8年度用地着手		H9年度工事着手	
全体事業費		約216億円		事業進捗率		49%	
				供用済延長		0.0 km (架線のみ2.5 km)	
計画交通量		83,052台/日					
費用便益比	B/C (事業全体) 1.8 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) - / 228億円 事業費： - / 228億円 維持管理費： - / 0.20億円	総便益 (残事業)/(事業全体) - / 421億円 走行時間短縮便益： - / 432億円 走行費用減少便益： - / 1.7億円 交通事故減少便益： - / -13億円	基準年 平成18年			
事業の効果等 ・都市の再生（中心市街地内で行う事業であり、市街地再開発事業、土地区画整理事業と連携しまちづくりに寄与する。） ・個性ある地域の形成（JR東海中央本線高架化により勝川駅地区の南北一体の市街地の形成を図る。）							
関係する地方公共団体等の意見 本事業は、春日井市中心市街地の活性化、交通混雑の緩和に重要な役割を果たすことが期待されており、勝川駅付近連続立体交差事業協議会、春日井市から早期整備の要望を受けている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 市街地再開発事業、土地区画整理事業により、勝川駅周辺の開発が進められたことにより、この地区の人口は増加し、それに伴う自動車交通が今後も増加する傾向にある。							
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年度に仮線切替が完了し、平成18年9月に下り線の高架切替が完了している。 残事業は、上り線の高架本体工事及び交差道路・測道整備工事。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後の見通しとして、完成年度である平成21年度に向けて事業が進められており、今後の工事においては特に問題もなく、計画どおりに事業を進めることが可能と考えている。							
施設の構造や工法の変更等 新工法等による大規模なコスト縮減はないが、再生材の使用等によりコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用等により環境負荷の低減に努める。							
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。						

事業概要図

